

臨床研究に関するお知らせ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に使用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名：嚥下困難時の疼痛緩和に対する介入の検討

—オピオイドの投与経路変更と嚥下困難時のレスキュー薬の実態調査—

研究責任者：海老根 香里（薬務局）

研究分担者：高村 優太（薬務局）

研究対象期間：2021年4月1日～2025年3月31日

1. 研究の目的及び意義について

がんによる痛みに対してオピオイドという鎮痛薬が使われます。様々な種類、剤形があり、患者様個々に合わせて選択されます。当院では、経口摂取困難や嚥下困難な患者様に使用できるオピオイドの一つとして、イーフェンバッカル錠を採用しています。この薬は服用方法や用量の決め方が特殊であるため、導入の際には緩和ケアチームへの依頼を必須としており、これまでに不適切な使用例はありません。しかし、この仕組みは入院患者様を前提に作られたため、一部の外来患者様で導入困難な事例が発生しています。

本研究では、オピオイドを内服から皮下・静脈内投与に変更している例のうち、経口摂取困難や嚥下困難な患者様の実態を知ることが目的としています。この調査で今後の課題を見出すことによって、外来治療における患者様の不利益回避につなげ、より良い医療に還元できると考えます。

2. 研究の方法について

対象者：2021年4月から2025年3月の期間で、強オピオイドが処方された患者様が対象です。

方法：電子カルテの後方視的レビューにて以下の項目を抽出

年齢、診療科、がん種、入院／外来、強オピオイド処方歴、オピオイド変更理由

本研究は通常の診療記録から得られる過去の内容のみを使用する研究ですので、患者様一人ずつの直接の同意は頂かずに、この掲示によるお知らせをもって実施されます。

3. 情報の他の研究機関への提供および提供方法について

他の機関への情報の提供はありません。

4. 個人情報等の取扱いについて

利用する情報は、お名前、ご住所など個人が特定できるものは削除いたします。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も個人が特定できる情報は利用しません。利用した情報は院内に設置されたパスワード管理されたパソコンのみで使用します。パソコンはセキュリティ管理された部屋に設置し、情報は研究者のみが知るパスワードで保管・管理されます。パソコンおよび情報が外部に持ち出されることはありません。

5. 利益相反について

本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

6. 本研究への参加を希望されない場合

患者様やご家族様が本研究への参加を希望されず、資料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

7. お問い合わせ先

株式会社日立製作所ひたちなか総合病院 薬務局 海老根 香里
メールアドレス：kaori.ebine.ah@hitachi.com
TEL：029-354-5111（代表）